

令和6年度 自己評価・学校関係者評価 結果公表シート

香芝市立五位堂幼稚園

1. 本園の教育目標

心豊かにたくましく生きる力を育む

—— 遊ぼう 学ぼう みんな笑顔の幼稚園 ——

- 生き生きとした明るい元気な子ども
- やさしく豊かな心をもつ子ども
- よく考えて、最後までやりぬく子ども
- すすんであいさつができる子ども

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- 基本的生活習慣の確立
 - ・体操・リトミックなどの運動遊びを計画して行い、健康でたくましいからだづくりに取り組む。
 - ・挨拶の大切さや様々な生活習慣、ルールやマナーを育てる。
- 幼児の内面理解や多角的にとらえながら、園児が、伸び伸びと自己発揮しながら遊べるための環境づくりや教師の保育力を高める。
 - ・園内研修を積極的に行い、様々な方法で保育の振り返りを行い、明日への保育へ繋げる。
 - ・園と家庭が連携して園児のキラっとするポイントをみつることで、園児の自信になるように努める。
 - ・ニコニコタイムを設け、絵本やカードを活用したり、実際にあった事柄をみんなで考え相手の思いを考える機会をもつ。
- 園児が「やってみたい」と意欲的に挑戦する環境構成の見直しをする。
 - ・子どもたちが楽しみながら主体的に展開できる環境構成の見直し（絵画表現等）をする。
 - ・図鑑やパソコンを利用しながら、自ら調べたり周りの子どもに知らせる機会をつくる。
 - ・行事に意味をもたせ、園児が主体的に進められる機会を作る。
- 地域・保護者への啓発
 - ・幼稚園終了までに育てたい力（10の姿）を意識して日々の保育を振り返り、保護者と共有する。
 - ・ホームページ、ドキュメンテーション、掲示板を積極的に活用し、保育の可視化を図る。
 - ・園の取組を写真や表示を活用しながら、取組のプロセス（10の姿）をわかりやすく示す。

3. 評価項目・評価・取組と達成状況

評価項目	評価	取組と達成状況
(1)基本的生活習慣の確立	B	・少人数であるため、異年齢児の交流の機会を多く持つように工夫してきた。「げんきっきタイム」では、異年齢で体操やゲーム遊びをして身体を動かして遊び楽しさを味わえるようにした。 ・「にこにこタイム」を活用しながら、ルールやマナーについて知らせてきた。
(2)幼児の内面理解や多角的にとらえながら、園児が、伸び伸びと自己発揮しながら遊べるための環境づくりや教師の保育力を高める。	B	・「幼児期に育てたい10の姿」は、日々の計画で意識できるように、指導案に添付し常に振り返るように工夫してきた。学期毎に保護者や小学校職員に幼稚園で大切にしていることを紙面にして配布してきた。園だよりも園が取り組んでいることを載せ、共有できるように工夫してきた。保護者アンケートでも理解できたという結果である ・園児の見取りについても園内研修やGO幼研修の機会をもち、職員で研修を重ねてきた。今後も魅力ある教育内容が展開できるよう、今後家庭と園とが協力して取組を進めていきたい。 ・昨年度より継続して行っている「にこにこタイム」は、少人数のため経験できないことを、この活動を通して、考える機会をもつことができた。この活動は、園の特色として、今後も丁寧に行っていきたい。
(3)園児が「やってみたい」と意欲的に挑戦する環境構成の見直しをする。	B	・園児の興味を探りながら、活動や絵画の題材選びをしてきた。特に絵画は、楽しんで描ける工夫ができるように教材研究を重ねてきた。作品展においても、生き生きした表現を保護者、地域の方々に見ていただき評価をもらっている。 ・園児が「やってみたい」と思える環境づくりに心がけ、図鑑や絵本、パソコンを活用しながら自分で調べたり、友だちと作り上げる経験を多くもつ事ができた。園児の思いを引き出す援助や環境構成を職員間で話し合いながら活動してきた。

(4)地域・保護者への啓発	・保護者地域の方により具体的に発信するために園での様子を写真等で知らせるドキュメンテーションを作成し、掲示板への掲示、市ホームページへ掲載してきた。より保護者が興味をもって見てもらえるよう、ミマモルメを活用しホームページ更新を知らせてきた。また、毎日の園での活動の様子を掲示板で保護者に知らせてきた。 ・園の取組を保護者により知ってもらうために、行事のプロセスを写真も使って掲示してきた。出来栄だけでなく園の思いや取組を表示することで、より子どもたちの頑張りが保護者に届いたように思う。 ・小学校・保育所との交流が活発に行えるように、働きかけた。前年度より回数が増え、滑らかな接続に向けて園所での取り組みを小学校に知らせる取り組みもしてきた。更なる接続ができるように次年度へ繋げていきたい。
---------------	---

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

・今年度は「子どもの育ちと学びをつなぐ」～好奇心や探求心をもって人やものとかかわるための環境構成と援助のあり方～というテーマのもと研修を重ねてきた。活動において援助や環境構成の在り方で、興味や関心をもって主体的に関われることを考え、振り返りを行い、何の力がつくのかを明確にしてきた。掲示や園だよりドキュメンテーションで保護者と共有できるように工夫し一定の理解を得ることができた。 ・中堅研修もあり、研修を受ける機会が多く、園児の見取り方や環境構成についてなど学ぶ事ができた。園児の興味関心を探りながら活動を考えて保育することができ、それぞれの行事や保育活動において、学びのあるものになっていた。少人数であるため、支援教員と連携しながら過度になりすぎないように、それぞれにあった援助ができるように配慮してきた。 ・異年齢交流を活発に行い、あこがれやいたわりの気持ちが育つようにしたり、保育所や小学校に積極的に働きかけて交流ができるようにしてきた。次年度は更に広げられるように連携を取っていきたい。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
豊かな学び（遊びの充実）	・年間計画を見直し、2年間で育てたい姿を明確に発達年齢に合わせて、どんな力をつけたいのかをしっかりと話し合い実践に移していく。園児や教師が「やってみたい」とわくわくする保育環境づくりに取り組む。
保育所・小学校・地域との交流	・今後も園内の活動をホームページで知らせていく。 ・保・小の園児だけでなく職員の交流にも努める。幼稚園教育で伝えたいことをしっかりと小学校へ知らせる工夫をし、参観・作品展などを互いに見合ったり、子どものことについて小学校職員と話ができる機会を設ける。 ・地域に積極的に働きかけ交流の機会をつくる。
教育の質の向上と教員の指導力	・今年度、研修で得た知識を実践に移していく。研修テーマを設けて、テーマに特化しながら保育の質を高める研修を行う。 ・GO研修の年間計画をたて、継続した研修ができるようにする。 ・見通しをもった保育ができるようにすすめる、教材研究や環境改善の時間を確保できるようにしていく。必要に応じて互いにアドバイスできる職員関係に努める。

6. 学校関係者評価委員会からの意見と今後の改善について

・子どもにしっかり向き合ってください、感謝しかないです。 ・コロナも明けてイベントが復活し、マスク生活もなくなって楽しく二年間通えました。 ・個々の子どもの興味・感心を伸ばす為に職員間の意見交流、同じ方向性での支援が本当に大事だと思います。子どもが目目を輝かせた時って最高ですよ。 ・生活発表会で子ども達がのびのびと自分の個性を表現している姿を見て、普段の先生達の関わり方の成果だと思いました。一年の大きな成長に感動し、いろんな方に見てもらえる機会があればと思いました。 ・また、発表会后、保護者からのいろんな感想を聞かせてもらい、子ども・保護者・職員との関係の良さを感じ「五位堂幼稚園すごい」と思いました。 ・人数は少ないですが、これからも存在感のある五位堂幼稚園であってほしいです。 ・小規模園だからこそ出来る保護者との強い関わりを、先日の生活発表会で感じました。 ・二年保育というハンデはありますが、五位堂幼稚園らしさを大切に活動を楽しみます。 ・少数園ならではの取り組みに燃えておられる姿勢がよく分かります。五位堂幼稚園としての特色を発揮して下さい。 ・地域との交流をく地域の宝を共に育てる>少しずつ広げていきましょう。
--

